

## 授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食品学実験 b	杉山 靖正	受講者が少ないことから、全てを個人実験で進めたため、いろんな経験ができたのではないのでしょうか。アンケートでの回答でも、食品分析の内容が理解できた、日常生活にあてはめて新たな発見があったとのことで、担当した者としてもうれしく思います。食品分析は難しい内容を含む分野ですが、他の科目に関連する内容も多いため、今後の学修において疑問が生じることがあるかと思います。その際には気軽に質問に来てくださいね。
特別講義 c	辛島 順子, 高橋 加代子	特別講義Cでは、これまでの4年間で学んだ内容のうち、栄養食事指導や栄養管理、栄養教育について重点的に学修する内容としました。これらは、今後社会で管理栄養士として活動する上で、職域に関わらず、重要な内容となります。講義全体については、みなさんの評価からおおむね適切であったと判断し、今後も同じ方針で進めていきたいと考えています。診療報酬や介護報酬をはじめ、管理栄養士に必要なあらゆる知識は、常に更新する必要があります。今後は、自ら新しい知識や情報を習得し、学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。
臨床栄養学 b	松島 照彦	疾患と栄養の関係がわかったようで良かったです。教室が寒かったようですみませんでした。宿題は多いですが国試対策ですので、頑張ってください。
生化学 b	中村 彰男	前期の生化学aをもとにして応用力を養うことにも務めました。できるだけ分かり易い講義に努めました。結果的に試験の平均点も良く、皆さん頑張ったと思います。
食事摂取基準論	長谷川 めぐみ	授業評価に関わる学生諸君の意見に真摯にうけとめ、講義改善に努めます
栄養教育各論 b	辛島 順子	栄養教育各論bでは、主に栄養教育マネジメントとライフステージ別の栄養教育を学びました。アンケート結果から「栄養教育の方法を理解することができた」「ロールプレイや課題を通していろいろと知ることができた」等の意見もありました。3年次の「栄養教育論実習b」においては、「栄養教育各論b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを統合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
食品衛生学 b	大道 公秀	分析結果やいただいたコメントをみたところ理解度・満足度ともにおおむね良好であったと見受けました。配信していた授業に関連する最新のニュースについても、好意的は感想でしたので、引き続き工夫しながら、教育コンテンツをアップ・紹介し、自主的な学びを促す工夫をしてみたいと考えました。
臨床医学概論	松島 照彦	医学ということに初めて触れたと思います。2年生はいろいろな病気と栄養について学びます。マイクの調子が悪くてすみませんでした。宿題も勉強になって良かったようです。まとめも後で役に立ちますから頑張ってください。
生化学実験	中村 彰男	生化学実験は観察から得られる様々な現象を記述、考察する座学では得られないスキルを学ぶことができます。非常に難しい高度な実験を行いました。頑張った学生は自分で主体的に考える力を養えたと思います。
調理学特別講義	中川 裕子	授業内課題などをみてもみなさん熱心に取り組んでいたと思います。授業に対する満足度、成長を感じた、という問については全体平均とほぼ同じであったことからこれまでの復習ができたようです。国家試験に活かせるという意見があった一方、過去問題をもっと取り入れてほしいという意見があったので次年度以降の授業に取り入れたいと思います。
食品学実験 a	奈良 一寛	実験を通して、さらに専門性を活かす学びをしたいという意欲がみられるような内容に充実させていきたい。
公衆栄養学実習 a	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。蓄尿による食塩摂取量の測定や、食事調査、地域の健康増進計画の調査など、実践的な内容については好評価でした。一方、PCを使う作業が多いことの負担や、進行速度に個人差があるために、早く終わってしまつて時間が余ってしまう人、時間内に終わらないため提出期限を長くしてほしい人、両方のご意見が出ていました。  学生の皆さんのレポートの質は年々向上しています。さらに充実した実習を目指して、授業の内容・進行については見直しを続けていきたいと思っています。
給食マネジメント実習	山岸 博美	1年間の皆さんの成長は、素晴らしいものでした。私も一緒に成長できました。
食事計画演習	山岸 博美	献立作成は、他の科目でも必要となってきます。引き続き、知識を深めていきましょう。

[2021（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
総合演習 b	於保 祐子, 中村 彰男	人体の構造と機能、疾患の成り立ち分野を総復習してみました。4年間のまとめをしっかりと、苦手分野の克服に繋がっていただければ幸いです。国試問題を中心に苦手な分野を頑張れたと思います。
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、管理栄養士が栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。アンケート結果からは「さまざまな管理栄養士の仕事について知ることができた」「栄養教育をする際の留意点を学ぶことができた」といった意見がありました。学修範囲が広いので、資料にまとめを記載してあるとわかりやすいとの意見もありましたので、今後の資料作成の参考にします。2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
臨床栄養学実習 a	松島 照彦, 佐々木 溪円	講義と違い、触って、測って、診て、聴いて、食べて、飲んでみて、いろいろ体験できて良かったですね。
食事計画演習	山岸 博美	献立作成は、他の科目でも必要となってきます。引き続き、知識を深めていきましょう。
バイオテクノロジー概論	山崎 壮	現在の医療問題や食糧問題にバイオテクノロジー技術が深く関わっていることを理解してもらえたようです。バイオテクノロジー分野をさらに専門的に学びたいとは思わないようですが、授業で採り上げたテーマに興味を感じてもらえたことが授業最後の皆さんのプレゼンターマから感じられました。望ましい授業実施方法としては、過半数がオンライン授業（オンデマンド型、双方向型）がよいと回答していました。最後のプレゼンをしてもらう回は対面型で行うことにして、それ以外の回は知識伝達型の授業内容なので、2023年度授業ではオンデマンド型で実施することを検討しようと思います。
解剖生理学実験	笥 慎治	土曜日の2限から4限という、変則的なスケジュールでしたが、学生の皆さんは毎回真剣に講義と実習の両方に取り組んでくれましたので、教員の側としても大変楽しく実験を行えました。レポートもよく考えられたものが多く、なるほどと感心させられるレポートの多さに、正直驚かされました。アンケートでは授業内容等に概ね満足していただけたという回答がほとんどを占め、初年度の講義として安堵致しました。しかしわかりやすさという点では「どちらでもない」という回答も25%あり、わかりやすさの改善が必要であることを痛感しました。感想の中には、「生物の細胞や体の仕組み・働きについて理解を深めることができ、観察力も身についた」とか、「特にラットの解剖はなかなかできる体験ではなかったので貴重な体験をすることができてよかった。ラットの命以上の学びをすることができた。」というものもあり、教員冥利に尽きます。ありがとうございました。
給食経営管理 a	山岸 博美	給食経営管理は、次年度も続きます。また、学内実習も併用して行われますから、予習復習を行いながら修得していきましょう。
栄養疫学実習	森川 希	毎年、「難しい内容だった」との感想コメントを多くいただく科目です。今年度も同様でしたが、昨年度に引き続き、Zoomの授業動画を後日視聴できるようにしたことについては好意的な意見がありました。今後もこれは継続していく予定です。また、今年度より取り入れた論文検索ワークや、統計解析については「卒論にも役立つそう」とのコメントがあり、嬉しく思います。授業が終わったあとも、学んだ知識・技術を活かしていただきたいと思います。
感染と防御	佐々木 溪円	入学初年度から、かなり難しくボリュームが多い内容の授業でしたが、多くの人が熱心に取り組んでくれました。2年生以降の他の授業でも関連する分野がありますので、復習しながら感染症や免疫も得意な管理栄養士になってください。
食品衛生学実験	大道 公秀	分析結果やいただいたコメントを見たところ、理解度・満足度についておおむね良好であったと見受けました。実際に実験を行うことで科学現象を確認し、考察が深められていたようです。説明や解説に好意的な感想もありましたので、引き続き、詳しく丁寧に解説を行い授業を進行したいと考えました。加えて、引き続きレポートのまとめ方や、考察のポイントについて、授業内で示すような授業展開も考えていきたいと思いました。
栄養教育論実習 b	辛島 順子	栄養教育論実習bでは、2年次に学修したライフステージに応じた栄養教育について、実際の栄養教育の場面における計画立案や教育の実施・展開をグループワークを通して学びました。「対象者のことをよく考えた栄養教育の立案」「グループワークを通して協調性を身につけることや課題を発見すること」「プレゼンテーション能力」等の力がついたとコメントがありました。実習内容については、みなさんの評価からおおむね適切であったと判断し、今後も同じ方針で進めていきたいと考えています。
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	妊娠期から小児期について栄養摂取上の特性と問題点について学びました。特に胎児・乳幼児期の栄養状態が後の生活習慣病発症の要因になります。人の一生に影響を与えるこの時期の栄養について、今後も実習等を通じて深く学修してください。

[2021（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
臨床栄養管理学各論	高橋 加代子	授業の内容と方法については、ほぼ全体平均と同様ですが、授業の進むスピードに関しては平均を下回っており、今後の課題と考えます。ですが、臨床栄養管理学各論は講義する内容が盛りだくさんであり、3年生の校外実習に向けた内容なため、講義回数の範囲で説明しあげようとするとしてもスピードが速くなりがちで、悩ましい状況です。今後の授業において、検討していきます。 満足度に関しては、「どちらかといえば満足」と回答している比率が多く、内容の質に関しては現状の方向で進めたいと思います。
特別講義 d	森川 希, 佐々木 溪円	皆さんが、とても熱心に取り組んでいました。卒業後は、国が認めた食の専門家である管理栄養士として、自信をもって活躍してください。（佐々木溪円）
食品加工学 b	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足いただけたものと思います。
ライフステージ栄養学実習	高橋 加代子	授業の内容と方法については、全体平均を下回っており、学生の意見を参考に改善していきたいと思います。 1/3近い学生が、授業中に寝ていることが多く、学生の興味を得られるような内容を検討していきたいと思います。
臨床栄養学 b	松島 照彦	疾患と栄養の関係がわかったようで良かったです。宿題は多いですが国試対策ですので、頑張ってください。
公衆衛生学 b	佐々木 溪円	皆さんのコメントにもありましたが、日常生活では意識することがない社会の仕組みを学ぶ授業でした。管理栄養士になって現場で働くようになると、重要性が分かってくる分野です。また、法律や制度は少しずつでも変わっていきます。在学中だけでなく卒業後も、最新の情報を入手して業務に活かしてください。
特別講義 b	杉山 靖正, 中川 裕子, 大道 公秀	3名の教員による講義で、方法もまちまちでしたが、みなさんよく出席して理解してくれたと思います。 新しいことはほとんどなかったと思いますが、これまでの復習ができたと思いますので、国家試験に向けて知識を定着させるよう繰り返し学修してください。
食品分析学	杉山 靖正	アンケート回答数が少ないため違う意見もあるかもしれませんが、おおむね、みなさん講義内容もしっかり理解でき、他の科目と関連させて深い学習ができたようです。難しい内容を含んだり、他の科目にも関連する科目ですので、食品の分析について疑問に思うことなど生じましたら、気軽に質問に来てくださいね。
公衆栄養学 a	森川 希	本年度は、一部を除き対面授業を実施できました。非対面になった際の補助資料としての予習・復習用の穴埋めプリントは事前に配布しました。また、例年同様にmanabaのコンテンツを活用し、授業資料と、重要な情報源へのリンクを提供したほか、理解度確認のための課題として、eラーニングシステム(ESS)を導入しました。 提供内容については、概ね好評で、「この授業をどれくらい割いで理解できましたか」の問いに対しては、「十分に理解できた」「ほぼ理解できた」が合わせて半数以上で、例年と同等の結果でした。  「パワーポイントを印刷・配布してほしい」という要望に関する回答 この授業は、教科書に沿って進めますが、教科書は「二次資料であり」、記載事項の元となっている行政資料や統計データのような「一次資料」に直接アクセスする習慣を身に付けてもらいたいと思っています。 そのために、manabaに「授業資料」として、それらの資料や掲載サイトへのリンクを貼っています。授業のスライドは、その日の授業の流れや、教科書の該当箇所を示すもので、あえていえば「三次資料」であり、内容の密度は「抜粋の抜粋」です。スライドをそのままレジュメとして配布する授業とは、根本的な目的が異なっていると考えください。 また、これまでに、授業欠席時のレポートを、スライド資料からのコピーペーストとみられる方法で作成するケースがありました。スライドを配布することにより、このようなことが増加すると、上記の目的から遠ざかることにもなりかねません。 これらの理由から、今後も印刷配布はいたしません。pdfデータは毎回公開していますので、必要に応じてご使用ください。 他方で、「教科書」「プリント」「スライド」に情報が分散すると勉強しにくいということもありそうです。授業用のスライド使用をなるべく減らし、上記の一次資料を多く提示したり、配布したりすることも検討したいと思います。
臨床栄養管理学各論	高橋 加代子	授業の内容と方法については、ほぼ全体平均と同様ですが、授業の進むスピードに関しては平均を下回っており、今後の課題と考えます。ですが、臨床栄養管理学各論は講義する内容が盛りだくさんであり、3年生の校外実習に向けた内容なため、講義回数の範囲で説明しあげようとするとしてもスピードが速くなりがちで、悩ましい状況です。今後の授業において、検討していきます。 満足度に関しては、「どちらかといえば満足」と回答している比率が多く、内容の質に関しては現状の方向で進めたいと思います。

[2021（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎調理 1	佐藤 幸子	管理栄養士として美味しい料理を作ることは、栄養成分を摂取してもらためには重要なスキルです。日々の自分の生活の中で調理を積み重ねていきましょう。
食品学 a	奈良 一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。
臨床医学概論	松島 照彦	医学ということに初めて触れたと思います。2年生はいろいろな病気と栄養について学びます。宿題も勉強になって良かったようですね。まとめも後で役に立ちますから頑張ってください。
栄養教育各論 b	辛島 順子	栄養教育各論bでは、主に栄養教育マネジメントとライフステージ別の栄養教育を学びました。 アンケート結果から「栄養教育の方法を理解することができた」「ロールプレイや課題を通していろいろと知ることができた」等の意見もありました。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを統合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
生化学 b	中村 彰男	前期の生化学aをもとにして応用力を養うことにも務めました。できるだけ分かり易い講義に努めました。結果的に試験の平均点も良く、皆さん頑張ったと思います。
解剖生理学 b	笥 慎治	解剖生理学 bでは人体の理学的な側面に焦点を当て、重要な生理学的仕組みを理解することを目標にしました。その結果、人体の構造に重点を置いた解剖生理学aに比べてスライドの文字情報が多くなり、わかりにくく感じるのではと危惧していました。この点に関しては、アンケートの集計では概ね分かりやすかったという回答が多く、「人体の中で起きている様々な働きのことについて理解が深まった」という感想も多く見られましたので、とりあえずは安堵しました。また「前期よりもスライドに文章が多くなり、後から見た時にとても分かりやすくなったので良かったです。」という感想もありましたので、文字の多寡よりも内容ということもわかりました。反面、自分の成長を実感出来たかという質問に対してはそれに比べると満足度が低めになっていました。来年度に向けては、もう少し記述をしぼり、より重点的な説明を加えるわかりやすい講義を心掛けるつもりです。 前期の解剖生理学aの講義では、大部分の回について資料およびビデオをアップロードしたところ好評でしたので、解剖生理学 bでは全ての講義の資料とビデオをアップロードしていつでも復習できるようにしました。その点については復習がしやすかった等の感想が多く、次年度以降も継続していくつもりです。 苦情としては、「小テストの公開が遅すぎてやり忘れる原因になるので、授業終わったらすぐに小テストを受けられる状態にしておいて欲しい。」というものがありませんでした。これはご指摘のとおりで、今後は当日中に出題するように改善するつもりです。また「授業が説明を一方的にしてもらいものなのでポイントがつかみづらく、復習しづらかったので、プリントを穴埋めにするなどの改善を希望します。」という感想もありましたので、今後の検討事項としたいと思います。